

## 磐田市経済産業振興プラン(案)に対する意見募集について(結果)

募集期間：令和3年12月27日（月曜）～令和4年1月25日（火曜）

意見：5件（1名）

No.	意見内容	市の考え方
1	<p>全体として思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事があれば人が動き、人が動けば仕事も生まれる循環 住み続けたい、住んでみたいまちを作ることで人が集まり、仕事が生 まれる循環の発想で考えてみる。</li> <li>人口が減少していく（特に若い人減少）又、産業構造転換が必要とな っていく（特に輸送用機器部品製造業シェア50%）中、仕事を生み 出していくことは容易なことではないと思います。</li> <li>まちひとしごと創生戦略等で施策を実施してきていますが、中々大変 だと感じています。</li> </ul>	<p>住み続けたい、住んでみたいまちを作り、人が集まることで市内経 済を活性化させていくため、本市の魅力ある資源を活用した交流人口、 関係人口の拡大や、多様な人材の市内企業への就労促進に取り組んで いきます。</p> <p>また、仕事を生み出すという視点から、工業用地の開発、オフィス 誘致等の企業立地を推進するとともに、容易なことではありませんが、 新たな成長分野関連産業の創出にも挑戦していきたいと考えていま す。</p>
2	<p>全体として思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 磐田市民の磐田市民による磐田市民のための産業振興 地元の魅力・特色を見つめ直し、市民の手で豊かな暮らしを築く。市 民が自分のまちに誇りを感じなければ、外部にも良さが伝わらない。 比較的手軽で、素早く、あまりコストがかからない、市民が参画でき ることを考えてみる。</li> </ul>	<p>地域資源を活用したマイクロツーリズムの展開、市内事業者間のネ ットワーク構築、市内企業の職場見学の実施などを通じ、市民が磐田 市の魅力・特色を見つめ直すことに取り組んでいきます。また、市民 が参画できる取り組み等については、柔軟な発想で検討していきたい と考えています。</p>
3	<p>具体的に思うこと・コンセプトを明確にする、戦略・選択的に考える A「住・商業は駅前、工業・観光は外周、市民の市内でのマルチハビテーション」 ①コンパクトシティ化を中心に考える ・ 3駅を中心として生活圏を徒歩圏・自転車圏に集約し、歩いて暮らせるまちづくり ・ 生活インフラに関する産業（商業関連、病院、介護施設、私立学校、アミューズメント施設等） を市民が創業もしくは企業誘致 ②外周（海側、山側）地区の産業振興 ・ 地元資本の中小企業の業容拡大をサポートする 既存事業の拡大、新規事業に対する規制緩和をする（補助金・助成金より土地利用、固定資産税 軽減等） ・ 食を中心とした海側でのまちづくり 海岸線地域は眺望・自然が素晴らしい、キャンプ場・自転車道や渚の交流館あり。そこにもっと 交流人口・関係人口の増加及び市民が週末マルチハビテーションのできるための事業を創生させ る。コテージ・BBQ・ピクニックエリア・各種飲食店等開業することにより、1日退屈せず過 ごすことができるエリアを作る 山側でも同じように考えてみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間事業者等と連携しながら、駅を中心とした市街地の活性化、魅 力あるまちの賑わいづくりを推進していきます。また本市でも、サー ビス業の事業所数は増加傾向にあります。市内での立地や創業・ 起業について積極的に支援していきたいと考えています。</li> <li>・ 市職員が直接市内企業の声聞きながら、市としてできる支援策に スピード感をもって取り組むことで、市内産業の競争力強化と経営 革新の促進を図っていきます。</li> <li>・ 沿岸地域をはじめとした自然資源、食資源等を活用し、体験型観光 等に取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>

4	<p>具体的に思うこと・・・コンセプトを明確にする、戦略・選択的に考える B「地域企業支援プラットフォームを考えてみる」 地元資本の中小企業が経営力・生産性を高めるとともに、個々の企業が有する高度な技術・ノウハウを結集することで大企業に負けない新たなビジネスモデルを創造する 具体的には下記のようなことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元請け→下請け→孫請けからの脱却。</li> <li>・M&amp;Aならずとも連携を考える。</li> <li>・異業種であっても、総務・経理・財務・人事（採用・教育）部門を共通化することでも効果はでてくる。</li> <li>・プラットフォームとして社会的使命（SDGs、CSR、ESG等）活動が大企業と遜色なくできる。</li> <li>・特定の分野で高い技術・能力を持つ中小企業を結集することで総合的なサービスが可能になる。</li> <li>・最終的には、人材確保、特に地元の人材が地元就職してもらえるような企業体が1社でも増えてくれればと思います。</li> </ul>	<p>各支援機関とともに企業間連携の促進、マッチング支援等に取り組むことにより、市内企業のオープンイノベーションによる経営革新の促進と競争力の強化、持続可能な経営基盤づくりを推進していきます。また、カーボンニュートラルへの対応やSDGsを意識した経営等の推進に関して、最新の情報発信と取り組みへの具体的支援を検討していきます。</p>
5	<p>具体的に思うこと・・・コンセプトを明確にする、戦略・選択的に考える C「市民参加の産業振興に向け一体感を醸成する」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興をテーマにした市民ワークショップを実施してみる。</li> <li>・前例、成功の方程式、経済学者が言うというより、まさかと思うようなことが意外と成功する世の中です。</li> <li>・市民17万人全員の意見（おおげさですが）を聞くといろいろな意見が出てくるのではないのでしょうか。</li> </ul>	<p>デジタル技術の発展等より急激に経営環境が変化している現状をふまえて、市民、民間事業者、支援機関などから広く様々なご意見をいただきながら、必要に応じてプランの見直しや新たな取り組みに柔軟に挑戦したいと考えています。</p>

## お問い合わせ

磐田市役所 産業部 産業政策課

〒438-8650 磐田市国府台 3-1

電話:0538-37-4904 FAX:0538-37-5013